

地域自然情報ネットワーク 第6期事業計画

平成20年7月1日から平成21年6月30日まで

1. 自然環境の調査解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業

● 東京都レッド作成業務

東京都生態系レッドデータブック整備事業；GCN会員、専門家による現地調査、検討会等により、東京都の保護・保全すべき生態系を調査検討し、GISマップとして取りまとめ公開する。なお、本事業はセブンイレブン緑の基金の助成を受けて実施しているものである。

● 地域性苗木導入についての評価業務

道路の切り土のり面における地域性苗木の導入による、自然復元の状況を調査し、評価を行う。評価結果はNPOによる事業評価の事例として会議等での発表を目標とする。

2. 自然環境情報の整備・公開事業

● 上サロベツ自然再生事業

前期に引き続き、再生技術部会および再生普及部会に参画する。今年度は、地生態学的見地からの自然環境評価やそれに基づく自然の活用を中心に、またサロベツ協議会普及部会で支援事業して提案採択されたエコツアーの実施の具体化に向けた具体的な検討を行う。

3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業

● 専門学校での人材育成

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野へのGIS基本および応用技術に関する集中講義を行う。初級編は前年度が初めてであり、各種の反省などを踏まえて若干の改良を行いつつ進める。また、応用編については継続実施中でありつつがなく進めていくと共に、応用編で大きく受講生が減った原因を検討し、場合によっては講義内容等の改良をこころみる。

● 社会人自然環境GIS講座

社会人を対象にGIS講座開催、GISによる解析・応用技術の普及とそのための人材育成を図る。本年度は応用編の実施にむけて、本格的な準備を行い秋口の実施に向けて進める。応用編の内容としては「データ作成編」、「解析編」の2つのテーマが考えられる。

● ESRIユーザー会議への参加

ESRIワールドユーザー会議（サンディエゴ市）に参加し、情報の交換と収集を行う。国内におけるユーザー会議ではNPOとしてブース出展等を予定。

● 環境教育プログラム開発事業への協力

大学との連携により、「社会的な合意形成を行える人材」「空間的な思考および分野をまたがる横断的な思考による環境の総合的な理解と評価を行える人材」「環境のモニタリングから評価と意志決定までの一連的な環境『見守り』活動にかかわる多面的な実践を行う人材」の育成

を目的とした教育プログラムの開発事業への協力を計画する。

- **地域自然情報研究会**

月一回の定期開催を続け、情報提供・情報交換・人材育成に努める。年に最低一度は規模を拡大した公開セミナーを開催することとし、新事業年度には 2008 年 12 月 13 日に里山をテーマにした公開セミナーを、2009 年 1 月 24 日には東京都レッド作成業務の成果を公表する公開セミナーを企画中である。

- **レンジャー等の行政職員を対象とした講習**

レンジャー職員等を対照とした研修に講師派遣を行い、自然環境に関する GIS の利活用方法について講義する

- **自然資源活用事業**

地域の自然の価値発見、CSR への協力などを自治体、企業に提案する。

- **広報事業**

ホームページ、ニュースレター等による広報を行う。広報を会員への情報提供の重要な手段と考え、その改善につとめる。

4. 自然環境保全にかかわる支援活動事業

- **西武・狭山丘陵パートナーズ指定管理業務**

東京都建設局の公園指定管理者として、「都立公園狭山丘陵グループ」に自然環境 GIS の整備と管理・運営への活動提案をする。5 年継続業務の第 3、4 年目に当たる。維持管理 GIS の充実化を進めるとともに、萌芽更新の履歴や市民グループでの管理履歴、ボランティアの管理履歴データなどを GIS データ化するとともに、希少種や注目種の出現状況と重ね合わせることによって、生物の多様性に配慮した管理の在り方についての提言を行うための基礎的なデータの積み上げを行う。

- **大自然塾講師**

本年度も講師派遣の依頼がある。本年度は雑木林の管理計画の考え方など全体で 5 回の講義が依頼されている。

- **阿蘇草原再生協議会**

前期に引き続き生物多様性小委員会に参画する。